

## 夢・努力・感動 ～生徒とともに～

令和2年3月19日(木)  
人権・同和教育部だより  
2年生 生徒・保護者版

みなさんこんにちは、人権・同和教育部です。感染症のニュースなどで慌ただしい日々ですが、3月になり、暖かな春の日差しが感じられるようになってきました。

さて、今回は3月に行った今年度最後の人権・同和教育HR活動を振り返るとともに、ふれあい委員のみなさんによる「ふれあいコラム」を取り上げてみたいと思います。



### 人権・同和教育HR活動

3月11日(水)「性の多様性について」

○HR活動の内容

1. 性のあり方(セクシュアリティ)に関するO×問題を解きながら、性の4要素や性的マイノリティの人々についての基礎知識を身につける。
  - ・性には、こころの性・からだの性・好きになる性・表現する性の4つの要素がある。
  - ・恋愛や性愛の対象になる「性的指向」を自分で選ぶことはできない。
  - ・からだの性に違和感がある人や、自分のこころの性が分からない人もいる。小学校に入る前ぐらいで気づく人もいれば、結婚・出産・定年などをきっかけに気づく人もいる。
  - ・LGBTという言葉自体は新しいものであるが、このような人々は昔から存在していた。
  - ・同性愛が疾患とみなされ、異性愛者へと「矯正する」療法が行われた時期もあった。
2. 経済産業省に勤務するトランスジェンダーの職員が、希望するトイレを使えなかったというニュースを視聴して、性的マイノリティの方がどのような不便や生きづらさを感じているか考える。
  - ・あなたが原告のように、使用したいと思う反対の性のトイレしか使用できなかったら、どのように感じますか。
  - ・あなたが同じ職場の同僚だったら、どのように感じますか。
  - ・どのような配慮・対応があれば誰もが気持ちよくトイレを利用できるでしょうか。
3. 性的マイノリティの人々にとってどのような配慮や対応があればより暮らしやすくなるか考える。
4. 2と3で考えたことをもとにして、様々な人々にとって生きやすい社会を実現するためにできることを考える。

○生徒のみなさんの感想文より

- ・今回の授業の内容は、SNSでも頻繁に話題に上がり、問題視されているものなので、すごくタイムリーだと思いました。
- ・LGBTについての知識は一般常識で、性的マイノリティの存在はごく普通のことだという認識をみんながもてる世の中になってほしいです。
- ・トイレのことに限っては、「正解」がよく分かりませんでした。差別するだとか、気持ち悪いと言うことがいけないということはみんな理解しているけれど、このような問題が起こるのは分かる気がしました。
- ・日本ではLGBTに対しての認知度、理解度が低いと思う。英語では、主語が不特定な人を、he or she と呼ぶのではなく単数形でも they を使用するという動きも広まっている。世界でLGBTへの関心が高まっているので良いことだと思う。

- ・今回の授業で、初めて性的マイノリティの人々について深く考えました。トイレや制服、進路の選択など、性的マイノリティの人々が住みやすいと感じる社会になるには、まだまだたくさんの課題があるということが分かりました。こうしたら性的マイノリティの人々が暮らしやすくなるのではないかという案はたくさん浮かびましたが、それが果たして本当に良い解決策なのかと言われると、そうでもないかもしれないと思いました。様々な課題を解決していくのは時間がかかるかもしれないので、今私たちができることは、性的マイノリティの人々について正しく理解し、差別やいじめが起こらないようにすることだと思いました。

○HR活動を終えて

短い時間でしたが、みなさんの感想から、性のあり方や性的マイノリティの人々について、真剣に考えることができた様子が伝わってきました。多様な性の人々にとって生きやすい社会をつくらうとする機運が高まってきたのはここ最近であることもあり、施設や制度が追いついていないことは多いと思います。また、どのようにしたらすべての人にとって気持ちよく過ごせるようになるのかについては様々な意見があり、時には対立することもあるかもしれません。しかし、今回のように知識を身につけようと努力をし、正しく理解しようとするのがそのような社会を築く第一歩になるのではないのでしょうか。

### ふれあいコラム

○委員会活動の内容

ふれあい委員の活動の一環として各クラスのふれあい委員のみなさんから「あなたのクラスでのほっこりエピソード」と「あなたが今、気になっている人権問題」を募集し、以下のようにまとめてみました。

○ふれあい委員のみなさんの原稿より

《ほっこりエピソード》

・ノルウェーからの留学生のニコラスくんとお別れの日に、お別れ会をしました。短い時間だったけど、みんな楽しそうに遊んでいて良い思い出ができたと思います。ニコにおかしの詰め合わせ箱をつくったり、みんなからの寄せ書きをプレゼントしたりしました。家に帰ってからは、LINEグループでニコからのメッセージが送られてきて、それに1人1人返信していて、とても温かいクラスだなと思いました。

・クラスに骨折した人がいましたが、歩きにくそうにしている時にクラスの数人がフォローに入って、授業と授業の間の移動や授業準備などの手助けをしてくれて、ほっこりしました。

《人権問題》

・コロナウイルスに関する人権問題が気になります。コロナウイルスに感染した人たちが、バイ菌扱いされたり悪い環境で隔離されたりして、人権が無視されていると感じます。他人事として考えるのではなく、自分がその立場だったらと考えて常に行動するべきだと思います。この出来事が、今一度人権について真剣に考えるきっかけになりました。

最後に

2年生のみなさんは4月から3年生になり、高校生活も一日一日がより一層かけがえのないものになっていきます。

これからも周囲の人に気持ちを考えながら行動し、困ったことがあれば、友人や先生に相談するなど人との関係を大切にしながら勉強や部活動等、残りの高校生活を充実したものにしてください。

